

関東弁護士会連合会

憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム

第8回こども憲法川柳

入賞作品発表！

関東弁護士会連合会では、今回も管内11都県の主に小学校5年生から高校3年生までの皆さまに「日本国憲法」を題材とする川柳を募集したところ、817作品ものご応募をいただきました。

審査の結果、次の作品を入賞作品に決定しました。

ご応募いただきました皆さま、ありがとうございました。

最優秀賞(1作品)

※川柳と作品に込められた思いは、原文のままです。

川柳	作品に込められた思い	都県・学年
君のため 苗字変えるか 悶々と	選択的夫婦別姓が認められていないことで、結婚に踏み出せない方がたくさんいると思う。近い将来に実現し、それぞれの夫婦の幸せを見つめられる社会になってほしい。	千葉県 中学3年

優秀賞(5作品)

川柳	作品に込められた思い	都県・学年
気に入らない あいつも持ってる 人権を	誰にとっても気が合わなかったり、なんか好きじゃなかったりする人がいると思います。気に入らなかつたり、嫌いな人だからって虐めてはいいい理由にならないなと思ったのでこの川柳を書きました。読んだ人が「気に入らないあいつ」について人物を連想させることによって、人権がより身近に感じると思ってこのようなワードを入れてみました。	神奈川県 中学3年
平和主義 じゅうをむけず 目をむけよう	じゅうをむけずに、他の国に目をむけて助け合えればいいなと思いました。	千葉県 小学5年
生存権 2525 (にこにこ) したい そのために	昨今は生存権で保証されている最低限度の生活や生活保護を受けられずお亡くなりになってしまった方もおり、二度とそのようなことを起こさないために、微笑むひとが増えるために第25条を守っていきたいという思い。第25条の25と微笑むひとをかけています。	千葉県 中学3年
平和主義 なのに増えてる 防衛費	平和主義を語りながら、着々と増えていく防衛費のせいで、他の費用が減ってしまっている日本に矛盾を感じています。	茨城県 高校2年
不均衡 三権分立 ほぼ二権	行政の力が強くなって、立法と一体化してきているように感じる。反対に司法の力が弱く、私たちには、二権に見えてしまう。この先、行政が暴走した時に止めることのできない今のままでいいのかという思いを込めた。	長野県 中学2年

佳作(10作品)

川柳	作品に込められた思い	都県・学年
スカートの 制服男子 いいじゃない	女子もパンツの制服でよくなってきたので男子もスカートでいいよねという気持ち	東京都 中学2年
隠さずに 君と歩ける 道がある	今の時代では性別などの隔たりを超えて、胸を張って生きていけるようにという思いが込められています。	神奈川県 中学3年
戦争を 無くしてみせる 憲法で	最近、世界で戦争が沢山起きています。日本には武器を持たない九条をもつ憲法があるので、その憲法を使って戦争を無くしたいと思いました。	埼玉県 小学5年
行かないで 私の宝 空へ飛ぶ	戦争に行く息子への母の思いを汲みました。	栃木県 高校2年
戦争は 欲しがりません 永遠に	世界中で今もなお、戦争が勃発している。戦争は、絶対に起きてはならない、そして、起こしてはいけないという思いを込めて、1942年の国民決意の標語「欲しがりません勝つまでは」という言葉をもとに作りました。	栃木県 高校2年
たった一人その人生はたった一度	個人の尊厳を守る。簡単そうに見えてこれを守れていない人がどれほど世の中にいるのだろうか。たった一人傷つけたって大丈夫、と思っても、相手からしてみたらたった一度の人生。だからこそ、この川柳で命と個人の尊厳について伝えたいと思った。	群馬県 中学2年
平等に 学べる世界 平和あれ	世界には、戦争や、学びたくても学べない子供がたくさんいるから、日本のように誰もが、平等に学べる環境になってほしいなあ。と、いう願いをこめました。	静岡県 小学5年
Z世代 捨てるな未来と 選挙権	近年、選挙に投票する若い世代の投票率が低いことが課題となっていて、少しでも多くの人に選挙に参加してほしいという思いで書きました。	山梨県 中学3年
星を見て 考え直す 平和主義	死んだ人は星になると言われていて、第二次世界大戦時には多くの人が星になってしまったと思います。それを繰り返さないために、平和主義が考えられましたが、それとは少しそれのような政策や動きが増えてきたのではないかと考え、そのうちまたたくさんの方が星になってしまうのかもしれないという不安があるということを書いてみました。	山梨県 中学3年
誇り持ち 憲法学ぼう 国民よ	学校の授業で憲法を学んだことで、選挙への関心が増し早く選挙権が欲しいなど思った経験から、国民みんなが憲法に関心を持ったらよりよい日本をつくれるのではと思います。	新潟県 高校2年

選考委員からご応募いただいた皆さまへ

回を重ねること8回目の開催となりました「こども憲法川柳」。今回は817作品と昨年のご応募をいただきました。どれも力作揃いで、自分の言葉で、自分の感性でそれぞれの思いを込めた句が多く寄せられました。単にストレートな表現をするのではなく、いったん自分の心で咀嚼して、自分なりの感性で表現をしたものが多かったです。選考委員としても、作者の思いを想像しながら、丁寧に読ませていただきました。最優秀賞に選ばれた作品は、理想と現実の狭間で悩む自分が描かれており、工夫のある川柳でした。

【お問い合わせ先】

関東弁護士会連合会 「こども憲法川柳」事務局 TEL: 03-3581-3838

※ 関東弁護士会連合会は、東京高等裁判所管内にある13の弁護士会の連合組織です。

